



フィラリアQ&A



フィラリアってなに？

フィラリアとは、**犬の心臓に寄生する寄生虫**です。犬糸状虫(糸みみたいなそうめんみたいな虫なので)ともいいます。感染した犬の血を吸った**蚊に刺されることで感染**します。犬だけでなく、**猫やフェレット**も感染します。

感染するとどうなるの？

幼虫が成長しながら血管を通過して3~4ヶ月かけて心臓にたどり着きます。初期は無症状のことが多いですが、**だんだん心臓や血管、肺**などに負担がかかり、犬フィラリア症を発症します。成虫は5年前後生き続け、子虫(マイクロフィラリア)を産生します。成虫が死ぬと、肺などに詰まってしまいます。

犬フィラリア症ってどんな症状？

元気・食欲がない、咳が出る、痩せる、呼吸が苦しそうなどの症状がでます。末期になると腹水が溜まったり血尿が出たりしますが、このときにはすでに手遅れの可能性が高いです。**猫は無症状で突然死**することがあります。完全に治す方法はありません。

どうやって予防するの？

蚊に刺されないのが1番ですが、それは困難なので、フィラリアの幼虫を駆除する薬を**月に1回投薬**します。感染してから2ヶ月以上経過してしまうと、幼虫が成長し、その薬が効かなくなってしまうため、毎月投薬する必要があります。成虫になってしまうと、自然に死ぬのを待つか血管から鉗子を入れて取り除くしか方法がありません。

いつからいつまで予防するの？

蚊が飛び始めた1ヶ月後から、いなくなった1ヶ月後までです。**5月~12月**が目安です。

どうして投薬前に血液検査検査が必要なの？

血液中にマイクロフィラリアがいると、投薬により駆除されてしまい**犬がショック症状**を起こす可能性があるからです。前の年にしっかり予防できていなかった場合には、成虫がいないかの検査も行います。

予防薬にはどんなものがあるの？

錠剤タイプ、おやつタイプ、スポットタイプがあります。ノミダニ予防と一緒にできるものもあります。

まとめ

フィラリアに感染するととても大変！

100%予防できる病気なので、毎月しっかり予防してあげてくださいね。当院では**3月~5月頃**のフィラリア検査をおすすめしています。